



資料1：第二次長崎県食育推進計画目標値の達成状況（平成23～26年度）

指 標	基礎値 (H21)	平成26 年度末	目標
1. 家庭における食育の推進			
児童生徒の朝食摂取率(%)	98.8	98.7	100
主食主菜副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合(%)	58.5(H24)	-	65.0
2. 保育所・幼稚園・認定こども園、小・中学校、高校、特別支援学校における食育の推進			
食育の計画を作成している保育所の割合(%)	70	96.1	100
食育の計画を作成している幼稚園の割合(%)	27	64.4	50
離乳食・アレルギー等食育研修会の参加保育所の割合(%)	71(H22)	63.3	90
栄養士を配置し、食育の取組を専門的に実施している保育所の割合(%)	49	55.2	60
食育担当者を配置して食育を推進している幼稚園の割合(%)	52	59.3	60
年間指導計画を作成している小中学校の割合(%)	88.3	99.4	100
食に関する指導の手引(文部科学省作成)の活用率(%) ※22年度配布	-	76.1	100
食に関する指導・衛生管理研修会(人)	155	173	160
県立学校栄養士・調理員等研修会(人)	83	96	85以上
学校給食研究協議大会(人)	383	-	400
学校給食における県内産品を使用する割合(重量比)(%)	66.6	70.4	67
「学校給食の手引き」活用率(%) ※22年度配布	-	97.0	100
生ごみ減量化リーダーによる活動回数(回)	149(H22)	226	200
3. 成人期以降の食育の推進			
肥満者(BMI 25以上)(20～60歳代男性)(%)	36.5(H18)	-	31以下
肥満者(BMI 25以上)(40～60歳代女性)(%)	28(H18)	-	21以下
やせの者(BMI 18.5未満)(20歳代女性)(%)	30(H18)	-	25以下
朝食の欠食率(20歳代)(%)	21.3(H18)	-	15以下
4. 地域における食生活改善のための取組の推進			
「食事バランスガイド」などを参考に食生活を送っている県民の割合(%)	20.5(H23)	-	60
野菜摂取量(1日平均摂取量)の増加(成人)(g)	256.4(H23)	-	350
食育推進関係者研修会(人)	1603(42回)	1616(43)	1670(40)
健康づくり応援の店登録件数(店舗数)	557	759	800
5. 生産者と消費者の交流の促進			
直売所、グリーン・ツーリズムの売上額(億円)	75	106	100
県内3魚市場協会が実施する児童・生徒等を対象とした魚食講習会の参加者数(人)	1,527	3,449	1,750
6. ながさきの食文化継承のための活動の推進			
「長崎県の郷土料理と地場産物を使った学校給食(レシピ集)」の活用率(%)	85.4	95.0	100
7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供			
食品の安全・安心リスクコミュニケーションの開催回数	9	11	9
8. 食育推進の連携と啓発の強化			
「びわ太郎食育通信」の発行回数(回)	4回以上	4	4回以上
食育の推進に関わるボランティアの数の増加(人)	5,070	5,237	5,300
食育に関心をもっている県民の割合の増加(%)	57.7(H18)	-	90
食育月間の取組を実施している市町数	14	19	21
食育月間以外の取組を実施している市町数	14	21	21

資料2：第三次長崎県食育推進計画の策定経過

◎検討経過（平成27年度）

- ①骨子についての協議、審議
 - 6月10日：長崎県食育推進会議幹事会（第1回）
 - 7月28日：長崎県食育推進県民会議（第1回） など
- ②素案についての協議、審議
 - 9月3日：長崎県食育推進会議幹事会（第2回）
 - 10月21日：長崎県食育推進会議
 - 11月17日：長崎県食育推進県民会議（第2回） など
- ③計画案についての意見募集
 - 12月14日～1月13日：長崎県政策県民参加制度（パブリックコメント）の実施
- ④計画の策定
 - 3月25日

◎長崎県食育推進県民会議委員（第5期メンバー：平成27年度）

※敬称略

役職	氏名	所属団体・役職	分野
会長	中村 法道	長崎県・知事	行政
副会長	濱本 磨毅穂	長崎県・副知事	
	篠崎 彰子	公益社団法人長崎県栄養士会・会長	健康と栄養
蒔本 恭	一般社団法人医師会・会長		
許斐 義彦	一般社団法人長崎県歯科医師会・会長		
佐田 悦子	一般社団法人長崎県薬剤師会・常務理事		
副島 都志子	公益社団法人長崎県看護協会・会長		
関山 美津子	長崎県食生活改善推進連絡協議会・会長	学校 ・保育所等	
安永 香織	一般社団法人長崎県保育協会・副会長		
田中 元子	長崎県私立幼稚園連合会・常任理事		
森 百合子	長崎県PTA連合会・副会長	消費者団体	
井手 こずえ	生活協同組合らごう（長崎県生活協同組合連合会）・副会長		
栗林 多喜子	長崎県生活学校連絡協議会・会長	生産者 ・事業者	
西山 智子	一般財団法人長崎県地域婦人団体連絡協議会・会長		
川口 カズエ	長崎県生活研究グループ連絡会・会長		
山中 勝義	長崎県農業協同組合中央会・会長		
川端 勲	長崎県漁業協同組合連合会・代表理事会長		
瓜生 泰子	長崎県商工会議所女性会連合会・副会長	給食・教育	
坂本 洋司	一般社団法人長崎県調理師協会・会長		
山口 弘勝	公益社団法人長崎県食品衛生協会・会長		
嘉村 恒之	長崎県学校給食研究会・会長	地域活動団体	
古賀 優子	長崎県学校栄養士会・会長		
白石 幹幸	公益社団法人長崎県学校給食会・理事長	学識経験者	
原田 洋子	おふくろの味を守る会・会長		
杉本 兼幸	おおせとオヤジ夜究教室・会長	消費者	
松永 知恵	活水女子大学・准教授		
市川 まりこ	公募委員		
清水 文子	公募委員	行政	
田中 裕子	公募委員		
田上 富久	長崎県市長会・会長	行政	
池松 誠二	長崎県・教育長		

◎長崎県食育推進会議構成員（平成27年度）

	部 局	構成員
会 長	県民生活部	部 長
委 員	総務部	部 長
	文化観光国際部	部 長
	環境部	部 長
	福祉保健部長	部 長
	こども政策局	局 長
	水産部	部 長
	農林部	部 長
	教育庁	教 育 長

◎長崎県食育推進会議幹事会構成員（平成27年度）

	部 局		構成員
代表幹事	県民生活部	食品安全・消費生活課	課 長
幹 事	総務部	学事振興課	課 長
		文化観光国際部	観光振興課
	文化観光国際部	物産ブランド推進課	課 長
		県民生活部	県民協働課
	県民生活部	生活衛生課	課 長
		環境部	未来環境推進課
	福祉保健部	福祉保健課	課 長
		国保・健康増進課	課 長
		こども政策局	こども未来課
	こども政策局	こども家庭課	課 長
		水産部	漁政課
	水産加工・流通室		室 長
	農林部	農政課	課 長
		農山村対策室	室 長
		農業経営課	課 長
		農産園芸課	課 長
		農産加工・流通室	室 長
		畜産課	課 長
		林政課	課 長
	教育庁	義務教育課	課 長
生涯学習課		課 長	
体育保健課		課 長	

資料3：用語の解説

※50音順に掲載

栄養教諭

食に関する指導及び学校給食の管理を職務としており、学校における食育推進の中核的な役割を担う者として、平成17年4月に創設された制度に基づく教育職員

学校給食の手引き

学校給食の意義を踏まえ、指導のねらいが達成されるように実施のあり方を示したものであり、学校給食に関わる全ての職員を対象に県教育委員会が作成しているもの

共食（きょうしょく）

家族や友人などと食事を一緒にすることのほか、その準備や食関連の情報のやり取りをすることなども共食に含まれ、食行動に良好な影響を与え合うことが期待される

グリーン・ツーリズム

緑豊かな農山漁村でゆっくりと滞在し、訪れた地域の人々との交流を通じて、その土地ならではの食事や伝統文化、自然、生活、人々の魅力に触れ、農山漁村でさまざまな体験などを楽しむ余暇活動

健康寿命

認知症や寝たきりにならない状態で生活することができる期間のこと

口腔機能

口のもつ、ものを嚙んだり飲み込んだりする飲食機能や話をするための発音機能、呼吸などの生体機能などの総称

食育基本法

平成17年7月15日に施行された国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進すること等を目的とした法律

食生活改善推進員

市町が開催する教育事業の養成講座を修了し、地域で食を通じた健康づくりをすすめるボランティア

食品リサイクル

食品の売れ残り、食べ残し又は製造過程において大量に発生している食品廃棄物の発生抑制・減量化により最終的に処分される量を減少させるとともに、飼料や肥料等の原料として再生利用するなど食品循環資源の再利用のこと

生活習慣病

日常の生活習慣に起因する病気の総称であり、肥満、高血圧、糖尿病、高脂血症などがあげられるが、これは個人が日常生活の中での適度な運動、バランスの取れた食生活、禁煙等を実践することで、ある程度予防することができる

地産地消

地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費することで食料自給率の向上に加え、直売所や加工の取組などを通じて6次産業化にもつながる

長崎県食育ボランティア

食に関連する様々な活動分野を活かした取組により食育を推進するボランティアとして登録された個人や団体

ながさきファミリープログラム

ながさきファミリープログラムのファシリテーター（案内役）が参加者主体のワークショップを進行するもので、「上手な褒め方、叱り方とは?」「思春期の子どもとの付き合い方とは?」等、子育てについての不安や悩みを参加者同士が話し合いながら、親としてどう関わっていくかを楽しく学ぶ講座のこと

認定こども園

就学前の子どもに幼児教育・保育を提供し地域における子育て支援をする施設として、都道府県が認定し、長崎県では条例で「食育計画」を策定することが義務づけられている

ライフステージ

人の一生を幼年期・少年期・青年期・壮年期・高齢期などと分けたそれぞれの段階

リスクコミュニケーション

食品にあるリスクについて、消費者、食品関係事業者、行政等の関係者間で情報・意見を交換し、その過程で相互理解を深め、信頼を構築する活動